



第18回日化協レスポンシブル・ケア賞

2024/5/23

DIC株式会社

化学物質取扱管理改善WG (CSWG)

リーダー 砂田 泰 (北陸工場)



DIC Corporation

化学物質取扱い管理体制の改善

- 01 当社概要と取扱製品
- 02 DICグループの安全衛生に関する方針体系
- 03 化学物質情報・安全衛生活動における
本社と工場の繋がり
- 04 社会との対話
- 05 化学物質取扱い管理改善WG
- 06 CSWGの活動ポイント
 - 1 DICの化学物質リスクアセスメント
 - 2 人材育成
 - 3 DICグループの化学物質管理の「あゆみ」と「これから」



01 会社概要と取り扱い製品の特徴

【会社概要】

商号	DIC株式会社 (旧社名：大日本インキ化学工業)
本社	東京都中央区日本橋3-7-20 ディーアイシービル
創業	1908年2月15日(明治41年)
資本金	966億円
従業員数	連結 約22,743名 単体 約3,744名 (2022年12月31日現在)
関係会社	190社 (国内30社、海外160社) (2022年12月31日現在)



【製品の特徴】

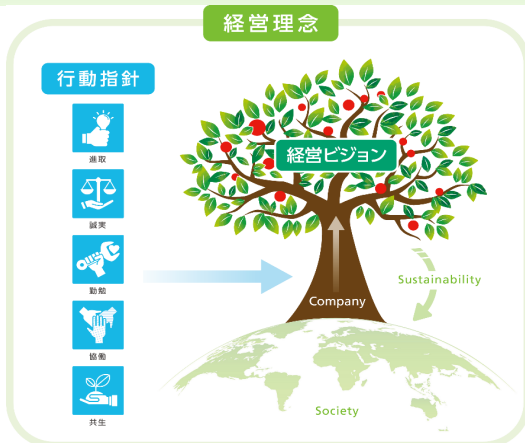
化学工業の**川中**に位置し、原料・製品とも、
ほぼすべて化学物質

- ① 合成樹脂・顔料などの**反応製品**
- ② 印刷インキ・着色剤などの**混合物製品**



02 DICグループの安全衛生に関する方針体系

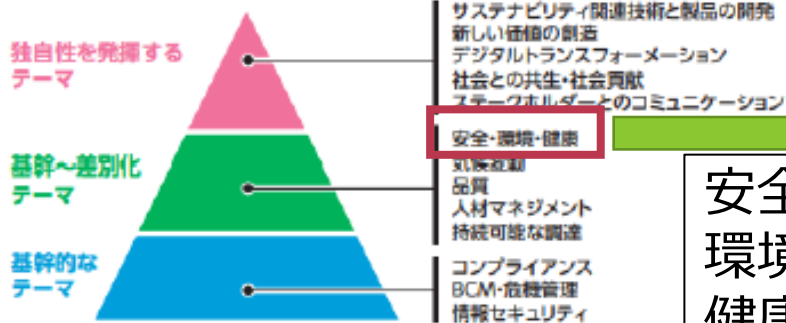
経営理念や日化協の方針を受けて安全衛生に関する方針を作成し各工場が実行しています。



ICCA RC global charter

「絶えざるイノベーションにより豊かな価値を創造し、顧客と社会の持続可能な発展に貢献する」

サステナビリティ基本方針



安全
環境
健康

安全環境健康に関する方針

安全・環境・健康に関する方針

DICグループは、社会の一員として、また化学物質を製造・販売する企業として、安全・環境・健康の確保が経営の基盤であることを認識し、このことを事業活動のすべてに徹底し、「持続可能な開発」の原則のもとに生物多様性を念め地球環境等に調和した技術・製品を提供し、もって社会の発展に貢献する。

1. 製品のライフサイクルにわたり、安全・環境・健康に責任を持って行動する。
2. 安全・環境・健康の目的・目標を定めて、継続的な改善を図る。
3. 安全・環境・健康に係る法律、規制、協定などを遵守する。製法・設備が整備されていない国においては、安全換装優先・地球環境保護の観点に立ち行動する。
4. 安全・環境・健康の教育と訓練を計画的に実施する。
5. 安全・環境・健康を確保するために、体制を整備し、内部監査を実施する。

この方針は、社内外に公表する。
DICグループ各社に対し、この方針に対応することを求める。
上記に述べた「安全」には、保安防災を含む。

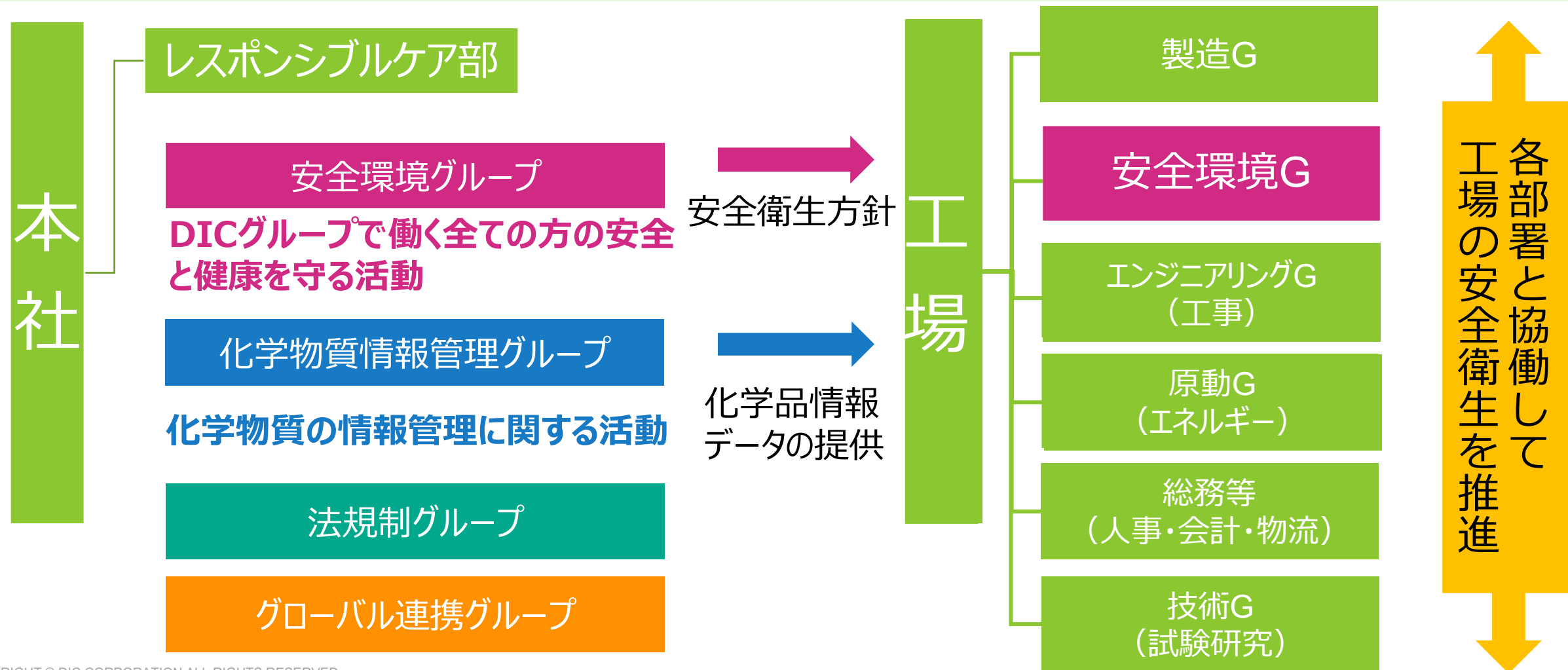
2018年1月1日 **DIC株式会社** 代表取締役 社務執行役員 堤野 謙

地域活動計画
(日/中/アジア/欧米)

工場長方針
(各工場)

03 本社と事業所の繋がり

レスポンシブルケア部が全社の安全衛生方針を策定し、生産事業所の安全環境Gが各部署と協働して実現しています。



04 社会との対話

・2022年全国産業労働安全衛生大会にパネリストとして登壇

2022年11月に福岡で開催された全国産業労働安全衛生大会に当社レスポンシブルケア部長が登壇しました。

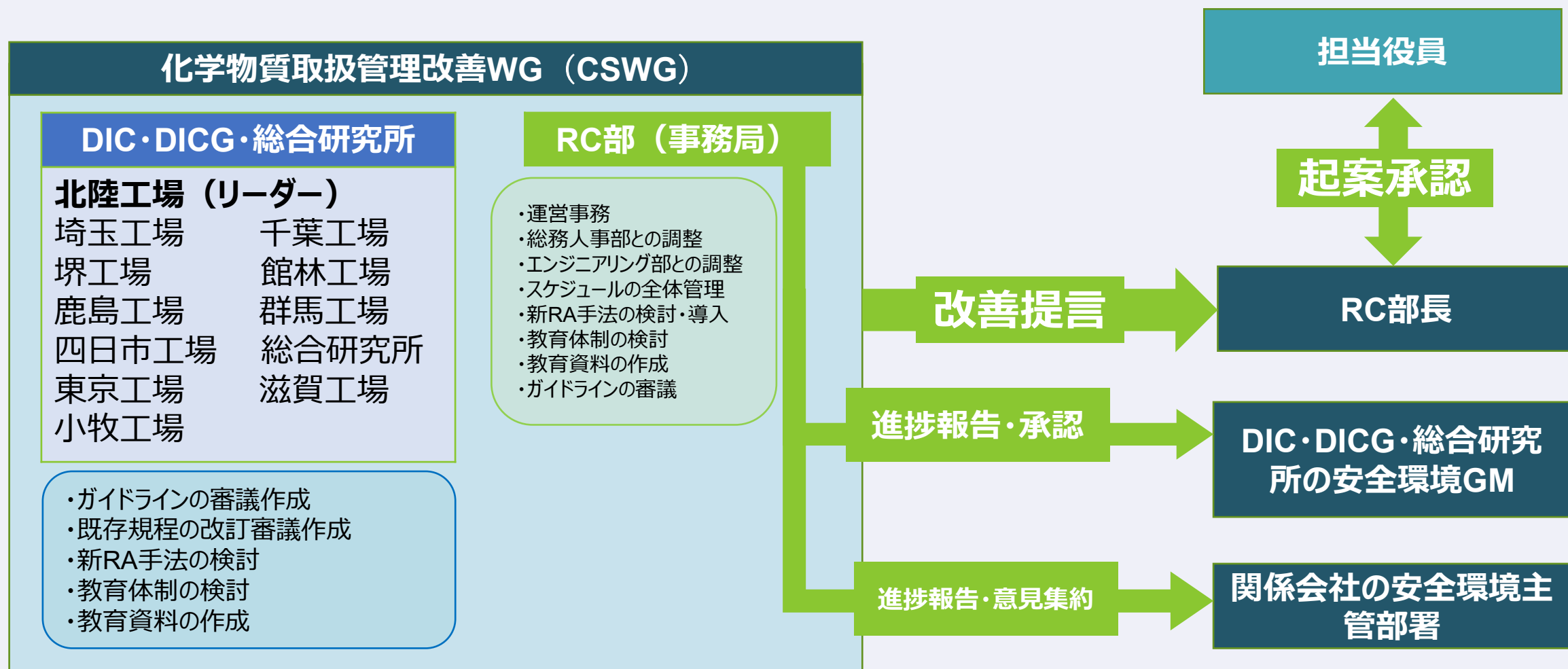
産官学の関係者がパネリストとして登壇し今後の化学物質管理の対応への企業の課題等についてディスカッションを行いました。

多品種の化学物質を取り扱う化学メーカーとして化学物質管理に対するこれまでの取り組みや、今後の対応方針についてご紹介をしました。



05 化学物質取扱管理改善WG (CSWG) の体制

化学物質の自律的管理の改善を目的に、2022年7月に化学物質取扱管理改善WG (CSWG) が発足 (12事業所、24名参画) 。RC部長へ改善提言を行いDIC国内グループ全社に展開しています。



06 化学物質管理におけるCSWGの活動ポイント

ポイント

問題点

DICの対応

前提

人材

化学物質に関する広範囲な知識が必要（人材育成ページ）

リスクの把握

情報の収集

SDS等の情報収集

取扱物質が多い

化学物質情報管理システム (CIGNAS)

情報の管理

化学物質情報を必要な時に取り出せる

・最新SDSの管理
・収集者とRA実施者が違う

難易度高

CIGNASで情報管理

RAの実施

法令で求められた方法で実施

RA実施数の増加

★ Create-SimpleとDICケミカルRAツールの二段階RA

リスクの管理

管理者の選任

化学物質管理の責任の所在を明確化

化学物質管理を複数の部署が所掌

★ 化学物質管理者の全部署配置

環境・健康管理

有効な管理方法を自ら選択

化学物質ごとに管理方法がばらばらになる可能性あり

★ 管理ガイドラインの策定運用

記録の管理

帳票の管理方法

関係帳票の管理部署が複数にまたがる

★ 保管部署の明確化

情報の共有

従業員との情報共有

安全衛生委員会の運営強化

意見を求める場面が多い

★ 情報共有による審議

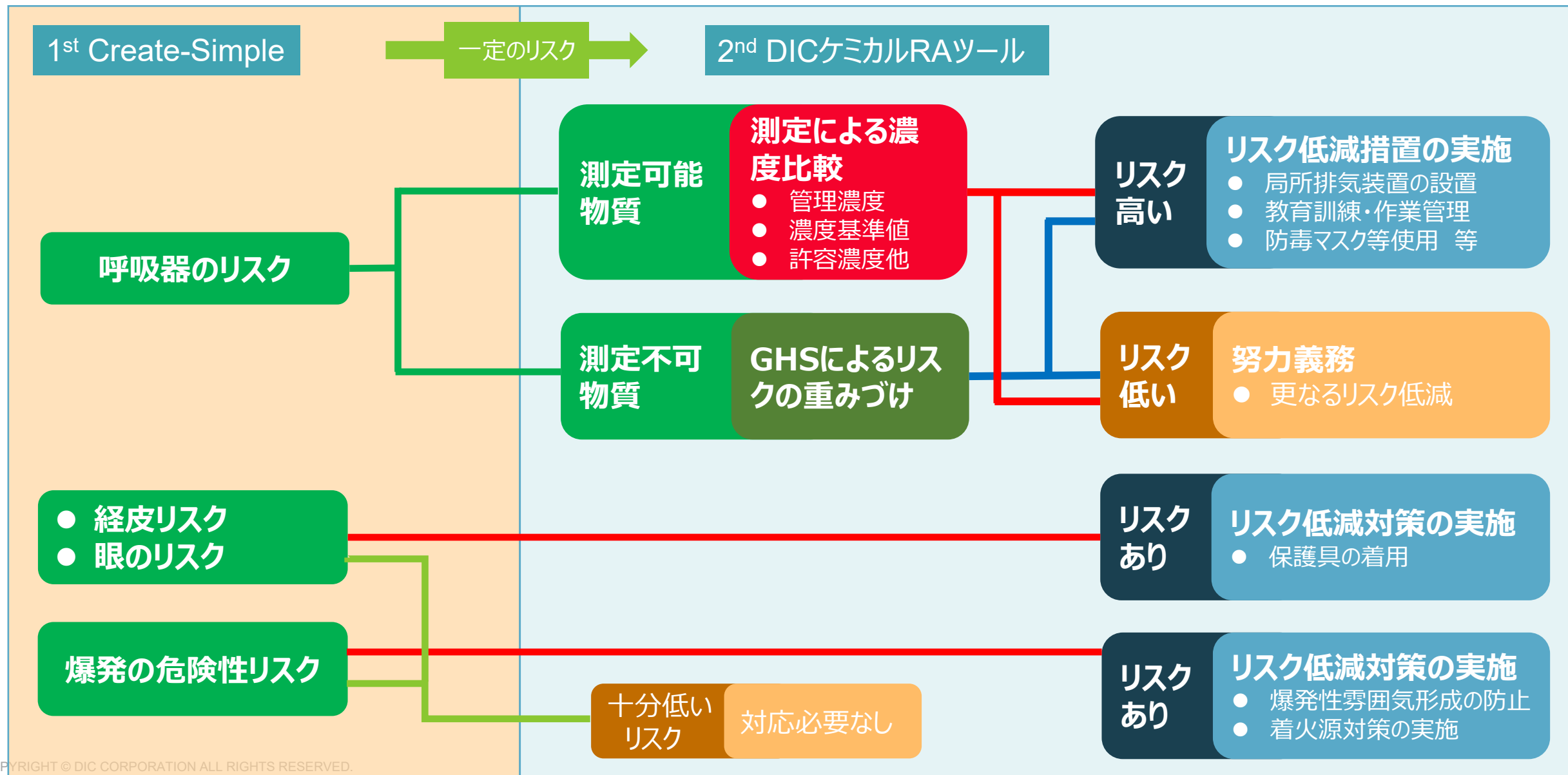
顧客への情報提供

SDSの情報提供

・製品数が多い
・SDSの品質管理

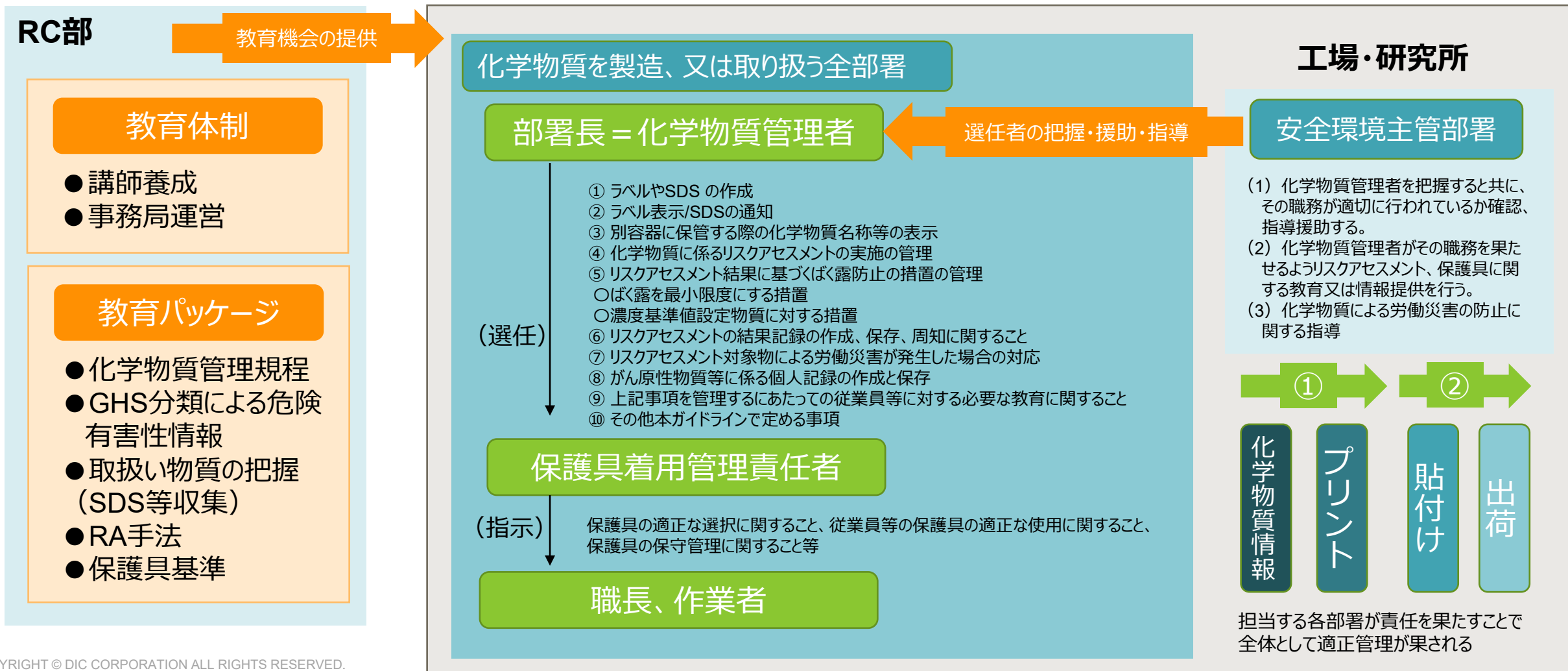
CIGNASによる品質維持と情報提供

06 1 DICグループの化学物質リスクアセスメント



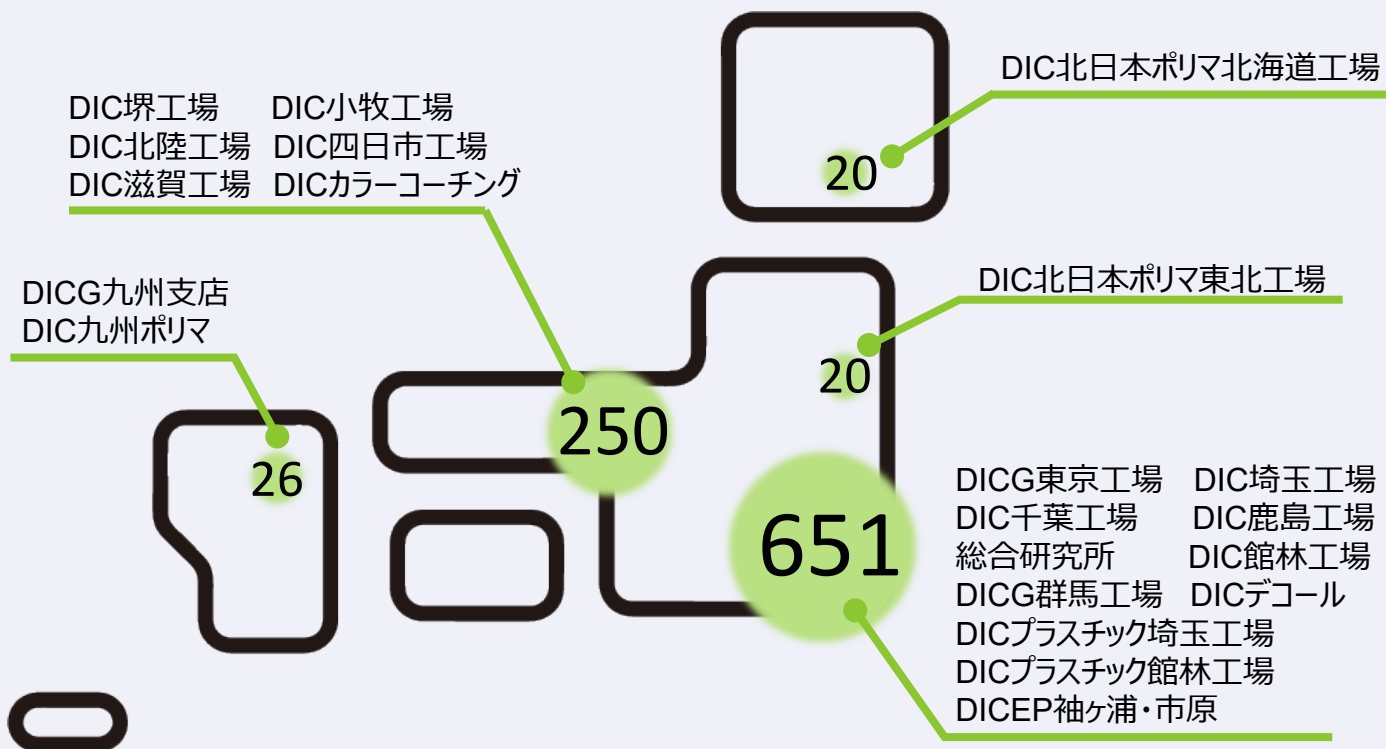
06 2 人材育成

化学物質管理を自律的に実施するためには、各部署に化学物質管理に関する広範囲な知識と技能を持つ人材を継続的に育成・配置する仕組みが必要です。



06 3 化学物質管理者/保護具着用管理責任者

化学物質管理の法令のほか、DIC国内グループの化学物質管理に関する各種規程、RA手法等、当グループの規程に最適化させた講習を実施し、工場等の全部署に少なくとも1名の配置を実現。



化学物質管理者/保護具着用管理者

全体の20%

- * 2024年1月～4月に講習予定
- * 全体：DIC国内グループの社員・派遣社員数

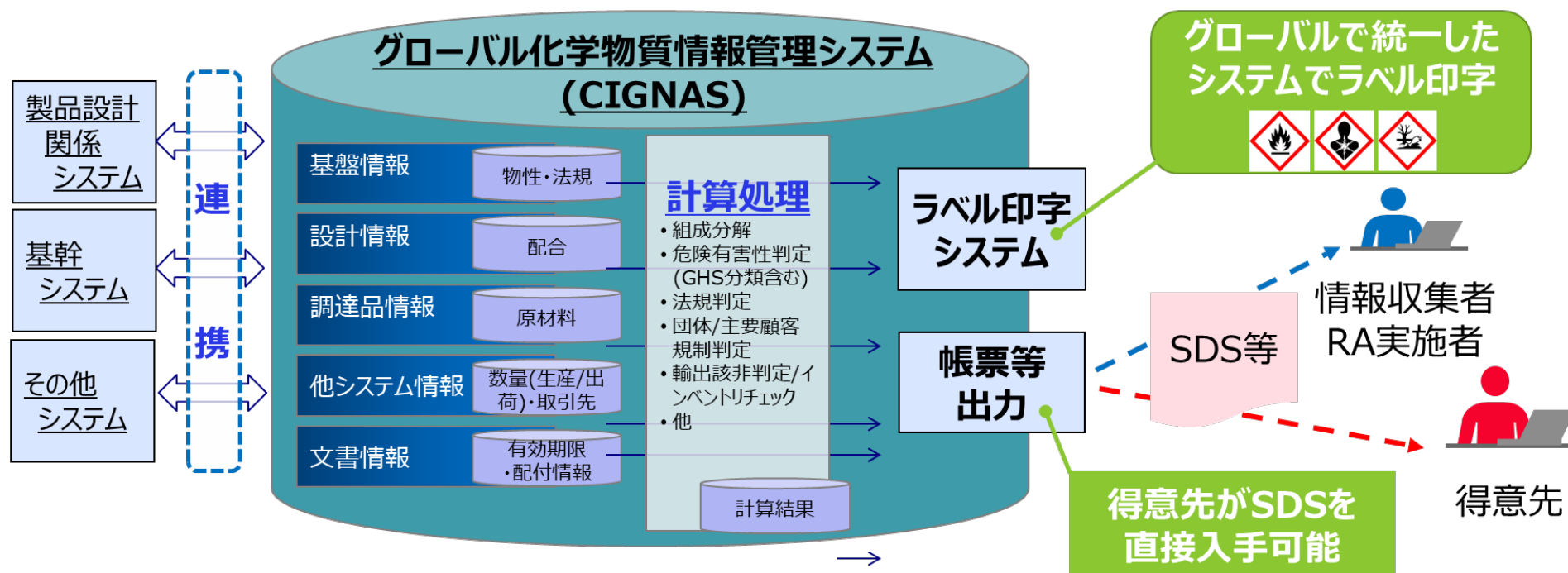
補足 DICグループの化学物質情報管理

DICグループでは化学物質情報を次の管理システムによりSDSの作成や交付等を行っています。

- 日本、中国地区のグループ会社：CIGNAS（シグナス）*
- 欧米のグループ会社：Atrion（エートリオン）

* CIGNASの補足

- アジアパシフィック地区の各社に対しては2024年中に導入し、完了する計画
- 2次元バーコードでのSDS交付にも対応済



06 3 DIC国内グループの化学物質管理の「あゆみ」と「これから」

2009

化学物質総合
情報管理システム稼働

Point 01

全部署でSDSが必要なときに、いつでも閲覧可能

Point 02

作業場所で着用する保護具が明確に

2009/05

保護具マニュアル制定

Point 02

作業場所で着用する保護具が明確に

2016/05

リスクアセスメント
ガイドライン制定

Point 03

リスクアセスメントの標準手法を決定

2023/03-

安衛法改正
ガイドライン制定

NEW Point

DICグループ全体の化学物質管理を自ら行い続けるためのガイドラインを制定

2024/01-

化学物質管理
体制制定

NEW Point

リスクアセスメント標準手法の改訂・化学物質管理者の全部署配置



Color & Comfort



DIC Corporation